

MacOS にもウイルス対策が必要

現状

「Mac (OS X) にはウイルス対策ソフトは不要だ」と言われていた頃もありました。しかし、最近ではアプリの問題点を悪用したウイルス感染が実際に発生しており、最早 Mac は安全とは言えなくなっています。特に、2011 年 9 月頃に現れた Flashback と呼ばれるウイルスは、本年 4 月までに**全世界で 60 万台以上の Mac に感染した**と報告されています。これは、それまでに販売された全ての Mac の約 200 台に 1 台、現在稼働している Mac の 100 台に 1 台以上が感染した計算になります。昨今のシェア増加と、相対的に見たウイルス対策ソフト導入率の低さから、今後も Mac を狙った攻撃が継続的に発生する可能性があります。また、同じ理由により、今後 Android などのスマートフォン/タブレット環境においても同様の攻撃が発生することが予想されます。

課題

ウイルス対策ソフトを利用せずに Mac を使用しているユーザーは、知らず知らずのうちにウイルスに感染してしまい、業務妨害や情報漏えい等の被害にあう、あるいは他者への攻撃の踏み台にされる可能性があります。

対策

Windows だけではなく、Mac においてもウイルス対策ソフトを利用すること、ならびに OS やアプリケーションのセキュリティパッチを迅速に適用することが重要です。また、OS X をセキュリティの強化された最新版にバージョンアップすることも、被害を未然に防ぐためには非常に有効です。